

見^て 聴^き 学^ぶ “住みよいまち”へ



地域包括支援

11月6日 広島県尾道市 地域包括ケアシステム “発祥の地”

公立みつぎ総合病院は、尾道市御調町を中心に5市1町、人口約6万人を医療圏とする地域の中核的综合病院で、現在の山口昇相談役顧問が地域包括ケアシステムの「生みの親、名付け親」であり、この病院が「発祥の地」といわれている。平成15年度に地方公営企業法の全部適用を受け運営管理に当たっている。



ポイントはココ！

- 医療・介護・福祉の連携・統合を図り、拠点となる総合施設群を整備したことで、総合窓口による一体的なサービス提供が可能となっている。
- 「つくられた寝たきり」を防ぐため、「寝たきりゼロ作戦」を掲げ、訪問看護・介護等の在宅ケアを充実させた。
- 最新の高度医療や、終末期の緩和ケアを在宅で提供できる体制を整えた。

視察を終えて

- ・医療・介護・福祉の連携による支援体制において、課題や改善点などを協議し、本人・家族が自分らしく生活できる事を尊重している。(松本委員長)
- ・地域完結型地域包括ケアシステムのネットワークとして機能しており、すべての市民が安心して住み続けられるまちづくりに貢献している。(大前副委員長)

健康寿命延伸

11月5日 愛媛県伊予市 “健康ポイント”を貯めて 楽しく健康に

伊予市では、「ますますい〜よ健康ポイント」事業を平成28年度に実証実験を行い、31年度から携帯電話会社のシステムを利用し開始している。登録者が行った運動など生活習慣改善の取り組みや、健診の受診などの実績に応じて付与されたポイントを達成券(500円相当)に交換することができる。



ポイントはココ！

- 登録をスマートフォンのアプリにすることで、気軽に簡単に参加できるほか、紙媒体のポイントカードも作成している。
- ウォーキングの距離や消費カロリーなどをグラフ表示し達成状況が一目で確認でき、スタンプを押す楽しみがある。
- 歩数ランキングを採用しほかの参加者と競い合うことで、継続したくなる仕組みになっている。

視察を終えて

- ・日常の健康活動ポイント獲得・蓄積による個人インセンティブの提供と、コミュニティづくりという継続要件が育成されている。(佐々木委員)
- ・アプリを利用することで若壮年も興味を持って、ランキングにより競争心を高めたり、記録が一目で分かるなど楽しく参加できると感じた。(北村委員)

コミュニティスクール 11月7日 広島県府中市

“社会に開かれた教育課程”の実現

府中市では、コミュニティスクールの推進に当たり、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を両輪として取り組んでおり、今年度から市内全小中学校で導入している。小中一貫教育とコミュニティスクールにより学びの機会を拡げ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて取り組んでいる。

ポイントはココ！

- 「地域を学ぶ」、「地域を生かす」、「地域に貢献する」、「地域と学ぶ」の4つの視点を大切にしている。
- 「実態把握」による課題を、「当事者意識」として持ち、熟慮と議論の「熟議」を重ねて解決し、「評価」する。このサイクルにより、持続可能なコミュニティスクールをつくっている。

視察を終えて

- ・地域住民、地元企業が教育現場に参画できる仕組みをつくり、子供たちが地域社会とつながる学びの場が形成されている。(小田委員)
- ・子供たちが主役の地域づくり・学校づくりを保護者とともに推進し、さまざまな社会で活躍できる子供を育成する姿勢に感銘した。(山本委員)

移住・定住

10月17日 岡山県高梁市 “若い世代も住みたくなる” きめ細かな施策

高梁市では、定住促進に向けて「住宅確保支援」と「子育て支援」を重点的に展開し、若者・子育て世代の田舎暮らし希望者からも注目されている。住宅確保支援では、若い世代への助成や空き家情報バンク活用による助成などを実施。また、子育て支援では結婚～出産～子育てを切れ目なくサポートする助成・事業を展開する。



ポイントはココ！

- 官民地域の連携・協働による移住サポート体制の強化のため、いち早く専任の“移住コンシェルジュ”を配置。
- 地域おこし協力隊と地域との繋がりや活動のサポート体制を充実し、隊員の多くが退任後も定住する。
- 空き家情報バンクに登録された物件に対する助成を行い、空き家の利用促進にも繋げている。

視察を終えて

- ・地域おこし協力隊で移住してきた若者たちがその活動を主体としながら、そのほとんどが定住していることに大きな成果を感じる。(田中委員)
- ・空き家情報バンクの運用によりふえていく空き家を有効的に活用しており、本市も参考にすべきと思う。(田畑委員)

災害対応

10月16日 広島県竹原市 災害の“教訓”と“復旧・ 復興への取り組み”を生かす

平成30年7月の豪雨により西日本では大きな被害に見舞われ、竹原市においても観測史上最大の降水量を記録し、死者6人、家屋被害693件、道路、橋梁、河川の損壊164カ所、土砂災害179カ所、断水1,622世帯など大きな被害となった。「復旧・復興プラン」を策定し、市民一丸となって各種施策の取り組みを進めている。



ポイントはココ！

- 専門的な機関として「危機管理課」を設置して一元的に対応する。
- 復旧・復興プラン「#がんばろう竹原」では“くらしの再建”“まちの復旧”“そなえの強化”の3つを柱に進める。
- ホームページのほか、定期的な『災害復旧かわら版』の発行など、市民への復旧状況等の情報提供に努めている。

視察を終えて

- ・庁舎ロビーの竹原・忠海高校の書道部作「復幸の書」が目目に飛び込む。石狩川・雨竜川の治水対策先送りを改めて懸念。(太田委員)
- ・市民に「まだ大丈夫」という意識があるのも事実だが、「備え」も考え始めている状況もありタイムリーな視察であった。(北名委員)

公共交通

10月18日 広島県安芸高田市

“地域の足” お太助ワゴン・お太助バス

深川市とほぼ同じ面積をもつ安芸高田市では、路線バス(市境を越える広域路線・市内のみを走る路線の2種類)、デマンド(予約乗合)型の「お太助ワゴン」と、市町村運営有償運送の3つを組み合わせた新たな公共交通システムを平成21年から開始し、地域で暮らす交通弱者の重要な移動手段となっている。

ポイントはココ！

- 市内のみを走る路線バスは通勤・通学の利用者が集中する朝夕のみ、昼間の時間帯にはお太助ワゴンが運行し、利用者数に応じた車両(お太助バス、お太助ワゴン)で効率的に運行する。
- 市内の店舗や事業者の協力によりお太助ワゴンの乗車場所を定め、帰りの便の予約もスムーズに行うことができる。

視察を終えて

- ・導入には多額の初期投資が見込まれるが、公共交通空白地域におけるデマンド型ワゴンの運行は必要と考える。(宮澤副委員長)
- ・運行に向けた準備、民業圧迫の懸念、事業の見直し・改善、課題など、今後の取り組みに役立つ視察となった。(近沢委員)



みんなのことを
審議し、決めました

条例	決議	議員発議	補正予算	意見書	人事案件
9件	2件	2件	4件	2件	3件

第4回
定例会

見て聴き学ぶ



Pick Up

補正予算

市役所新庁舎建設及び高等看護学院改築にむけた設計費用等を可決

全会一致

市役所新庁舎建設に係る設計業務のプロポーザル実施に要する経費及び、本年度から2カ年で実施する基本設計と実施設計に要する経費のうち、令和元年度分の経費が計上された一般会計補正予算と、あわせて令和2～3年度分の債務負担行為補正が提出されました。

また、同じく一般会計補正予算として、高等看護学院改築に係る地質調査及び、基本設計と実施設計の実施に要する経費が計上され、それぞれ可決されました。

市庁舎・高等看護学院の設計費用等を補正

高等看護学院改築 基本・実施設計委託



委託料4,144万円

<歳出予算補正内訳>

- 地質調査委託 600万円
- 基本設計委託 1,009万円
- 実施設計委託 2,535万円

<整備概要(予定)>

- 事業期間 令和元年12月～令和4年3月
- 建設予定地 深川市6条8番
- 敷地面積 1,309㎡
- 建築面積 607㎡
- 総事業費(概算) 9億8,224万円(3カ年分)



深川市立高等看護学院

新庁舎建設 基本・実施設計委託ほか



委託料等504万円

<歳出予算補正内訳>

- 基本設計・実施設計業務委託 500万円(令和元年度分)

※設計委託料総額 1億2,500万円

(現地測量・地質調査、現庁舎解体設計、車両センター設計費用を含む)

- プロポーザル審査委員会費用 4万円

(委員報酬、費用弁償等)

<債務負担行為補正>

- 基本設計・実施設計業務委託 1億2,000万円(令和2～3年度分)



深川市総務課庁舎建設推進室

議会運営と議会改革の活性化

11月12日 兵庫県小野市

議会改革は“市民のために”

小野市議会では、平成29年から政務活動費を廃止し、研修や視察を「議会調査研究活動」と位置づけ、議員が事前に計画書を提出し、議会承認を経て実施している。本会議のインターネット配信は平成13年度から開始している。女性議員比率が県内トップ(議員16人中7人)。幅広い視点で多様な意見を出し合える活発な議会を目指している。



ポイントはココ！

- 政務活動費を廃止し議会調査研究活動費を新設、報告会を実施し理事者側も含めた研修成果の共有が可能となった。
- 議会情報発信として「市議会だより」の充実を図るためにリニューアル。見やすく、わかりやすい紙面づくりに取り組んでいる。
- 議会傍聴しやすい仕組みづくり。(託児所設置、手話通訳・要約筆記の導入、議会中継等)

視察を終えて

- ・議会傍聴をふやす工夫や、議会調査研究事業で視察等の実施後は報告会を開催して情報を共有するなど、議会改革を進めている生の声を聴き、今後の議会運営の一助となった。(近沢委員長)
- ・本会議のライブ中継や傍聴者用託児所設置、中学生の議会傍聴等、市民に議会を見て、知って、参加してもらうための取り組みに感銘を受け、今後の参考としていきたい。(大前委員)

議会運営と議会改革の活性化

11月13日 大阪府箕面市

“チーム箕面市議会”として議会改革を深化

箕面市議会は、平成30年にマニフェスト大賞成果賞を受賞するなど議会改革先進地である。開かれた議会を目指し、平成25年より議会改革検討会議を設置し議会改革を推し進め、その集大成として議会基本条例を制定するために、28年11月から約2年をかけ制定作業部会を中心に議論を積み重ね、独自の条文をつくりあげた。

ポイントはココ！

- 市民の意見を幅広く把握するための意見交換の場として、地域別意見交換会、分野別意見交換会を開催している。
- 議論の充実を図るため、議員の質疑等の趣旨を確認する権利として理事者側に確認権を付与している。

視察を終えて

- ・意見交換会開催の考え方を聞き、素晴らしい取り組みであると思った。議会基本条例の制定においては、市議会として必要なことは何かを協議され、19回に及ぶ作業部会を開催し、全会一致で条例を作り上げたことは大きな成果であると感じた。(小田委員)

議会運営と議会改革の活性化

11月12日 兵庫県宍粟市

議会基本条例の“検証と今後の対応”

宍粟市は、平成17年に4町が合併し現在の人口は約37千人。市民に開かれた議会を目指し、豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的に、平成23年3月に議会基本条例を制定し議会改革を進めている。市民懇談会(わがまちトーク議員と語ろう)や市民又は団体との意見交換会(お出かけ市議会)を実施している。



ポイントはココ！

- 平成31年には、議会基本条例について、成果や課題を検証評価し、市民懇談会での意見も取り入れ、今後の改革への取り組みについて報告書としてまとめた。
- 市民の意見を議会広報活動に生かすために、議会広報モニターを設置している。
- 意見交換のキーワードを提示した座談会形式の市民懇談会を開催。

視察を終えて

- ・議会が行使できる権限を条例化して、市民の皆様信頼され、開かれた議会の構築に全力で取り組み、今後も議会の情報発信ができるよう議会改革を推進していきたい。(松本副委員長)
- ・歴史と伝統の街。日本酒発祥の地で「日本酒文化の普及の促進に関する条例」を議員提案で創るのは凄いと感じた。(太田委員)

【条 例】

■深川市税条例の一部を改正する条例 **全会一致**

軽自動車税の種別割における税率の特例について、適用期限を延長するものです。

■深川市職員給与条例の一部を改正する条例
■特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致**

一般職員の給与について、若年層の俸給月額と勤勉手当を引き上げるとともに、特別職の期末手当についても同趣旨の改正を行うものです。

■深川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
■地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 **全会一致**

会計年度任用職員に対して、給料等の支給方法を定めるほか、法改正に伴い、育児休業の規定を適用させるなど、本市の条例等においても所要の整備を行うものです。

■深川市子ども・子育て支援施設の設置等に関する条例 **賛成多数**

現在、整備を行っている保育施設及び子育て支援センターの管理運営に係る事項を定めるとともに、「深川市立保育所条例」の廃止を附則にて規定するものです。

■災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致**

法改正により、償還金の支払猶予・償還免除に新たな規定が設けられたことなどに伴い、本市の条例においても同様の改正を行うものです。

■深川市学びと集いの郷音江広里交流館条例の一部を改正する条例 **全会一致**

【問責決議】

■深川市議会議員佐々木一夫君に対する問責決議(議員提案)

(問責決議全文)

佐々木一夫議員は、自身の文責による市議会報告第19号の記載の中で、再度事実と異なる内容を記載し、市民に誤解を招く文書を配布している。

一つには、総務経済常任委員会において、参考人として株式会社深川振興公社幹部を迎え調査を行った際、佐々木議員は傍聴人として参加していたにもかかわらず、自らの市議会報告の中で、事実とは異なった記載をしている。このことは議会運営委員会でも確認されているところであり、極めて遺憾で憤りを禁じえない。本来、公人である議会議員は、市民の声に耳を傾け、市民を守っていかねばならない立場であり、個人の名誉を傷つけてはならない。猛省を求めるところである。

二つには、議長の議事整理権について記載しているが、「議長の議会運営はひどい」、「議長の異常な議事整理権執行」などと、

令和2年4月1日から供用開始する「トレーニング室」の、利用料金上限額などを設定するものです。

あわせて、これまで無料で貸し出していたグラウンドについて、利用料金を設定するものです。

また、トレーニング室に整備されるシャワールームと酸素カプセルについては、別途施行規則にて規定することとなります。



導入されるトレーニング機器

■深川市立高等看護学院修学資金貸付条例の一部を改正する条例 **全会一致**

現在、深川市立高等看護学院の学生のみを貸付対象としている修学資金について、国内全ての看護師を養成する大学、学校等に修学する学生を対象にするものです。

【補正予算】

一般会計において
2億6,762万円の増額補正が可決されました

全会一致

〈歳出補正事業抜粋〉

■路線バス循環線経路及びダイヤ見直しに伴う広報経費 50万円

■マイナポイント活用消費活性化事業準備に要する経費 51万円

■保育園新設に伴う引越し業務 168万円

■ラ・カンパニーホテル深川の施設改修に対する補助金 1,130万円

■JAきたそらがちが行う産地パワーアップ事業に対する道補助金の間接補助 1億8,951万円

市議会だよりに掲載しきれなかった案件は市HPで確認できます。



議決結果：市HP

人権擁護委員候補者の推薦

適任と答申

旭川地方務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、定例会最終日の12月18日に、次の方々への推薦があり適任と答申しました。

- 中本 照子さん
- 古屋 博行さん
- 石川 幸雄さん

【懲 罰】

■深川市議会議員佐々木一夫君に対する懲罰動議

定例会初日の12月9日に、懲罰特別委員会より第3回定例会における佐々木議員への懲罰動議について、不穏当発言と秩序違反を行ったことから、戒告を科すべきとの報告がありました。

これに対し、太田議員、北名議員から反対の立場での討論が行われ、12月10日の採決において、賛成多数により戒告の懲罰を科すことが可決され議長より処分が言い渡されました。

議案	議員名 (議席番号順)											議決結果			
	佐々木一夫	松本雅祐	山本時雄	北村 薫	大前 昭代	田畑 陽美	太田 幸一	宮澤 孝司	辻本 智	近沢 弘幸	小田 雅一		鶴岡 恵司	田中 昌幸	北名 照美
第4回定例会	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

※賛成=○、反対=●、除=除斥(採決に加わることができない)、鶴岡恵司議長は採決に加わりません